

横坂 源

チェロ・リサイタル

Gen Yokosaka Cello Recital

Romance

Del Diablo

悪魔のロマンス

PROGRAM

ベートーヴェン: チェロ・ソナタ 第4番

ハ長調 op.102-1

R.シュトラウス: チェロ・ソナタ ハ長調 op.6

サン＝サーンス: 白鳥

ピアノ: 悪魔のロマンス

ピアノ: 鯨

ピアノ: リベルタンゴ

ピアノ: ル・グラン・タンゴ

順不同

[ピアノ] 沼沢淑音

2024 2/3 (土) 19:00開演 (18:15 開場)
全席指定 4,400円(税込)

ザ・シンフォニーホール

主催: ザ・シンフォニーホール

プレイガイド

■ E+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonyhall/> (パソコン・携帯)
■ ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonyhall/> [Lコード: 54263]
■ チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonyhall/> [Pコード: 244-930]

ご予約・お問合せ

ザ・シンフォニー チケットセンター

06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonyhall.jp>

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、曲目、曲順が変更になる場合がございます。※公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承下さい。

悪魔のロマンス

横坂 源 チェロ・リサイタル
Gen Yokosaka Cello Recital
Romance Del Diablo

横坂源は、日本のチェロ界を担う逸材。10代半ばで小澤征爾と同じ舞台に立ち、2010年のミュンヘン国際音楽コンクールで第2位を受賞。彼の演奏はスケールが大きく、歌心に満ちあふれ、聴く者の心を強く揺さぶる。

ザ・シンフォニーホールのこれまでのリサイタルでは、ロマン派の作品を中心にとりあげてきた横坂であるが、今回は以前とは趣を異にしたプログラムに挑む。プログラム前半は、まずベートーヴェン《チェロ・ソナタ 第4番》で、彼の後期の内面世界に迫る。そして、R.シュトラウスの初期のはつらつとした《チェロ・ソナタ》などが披露される。後半はオール・ピアソラ作品。《リベルタンゴ》や《ル・グラン・タンゴ》など、奔放で情熱的な音楽を聴かせてくれるだろう。共演する沼沢淑音はヴィルサラーゼの弟子で、アルゲリッチからも絶賛されたピアニスト。横坂とは桐朋女子高校音楽科時代の同級生で、これまでも共演を重ねてきた。日本を代表するトップアーティストの競演が待ち遠しい。

道下 京子



[チェロ] 横坂 源 Gen YOKOSAKA, Cello

新潟市出身。桐朋学園女子高等学校(男女共学)を卒業後、ソリストディプロマ・コースを経て、シュトゥットガルト国立音楽大学、並びにフライブルク国立音楽大学で研鑽を積む。これまでに鷲尾勝郎、毛利伯郎、ジャン＝ギアン・ケラスの各氏に師事。2002年全日本ビバホール・チェロコンクール史上最年少で第1位。2005年出光音楽賞、2008年齋藤秀雄メモリアル基金賞、2010年ミュンヘン国際音楽コンクール第2位、2012年ホテルオークラ音楽賞など多数受賞。2009年には、全ドイツ学生音楽コンクール室内楽部門で第1位を受賞。豊かな音楽性やイマジネーションが卓抜したテクニックで表現され、「力強く、豊かで、円熟した音色、そして高い集中力と、何よりも情熱的で生き生きとした演奏」(ハレール・タグプロット)など、各誌で絶賛されている。13歳で東京交響楽団とサン＝サーンスのチェロ協奏曲共演を皮切りにソリストとしてデビュー、2019年/2020年には演奏活動20周年を迎え、ドイツでWürth PhilharmonikerとS.スヴィリドフのチェロ協奏曲『つばき』の新作委嘱・世界初演と東京交響楽団(齋藤友香理指揮)との日本初演を行った。また日本フィルハーモニー交響楽団(山田和樹指揮)とは、M.ルグランのチェロ協奏曲の日本初演を果たした。2021年2月、NHK交響楽団(尾高忠明指揮)とショスタ

コーヴィチのチェロ協奏曲、2022年1月には、東京都交響楽団(尾高忠明指揮)とエルガーのチェロ協奏曲を協演。録音では、2016年「J.S.バッハ:ガンパ・ソナタ集(ピアノ:藤井一興)」、2020年12月「シューマン&メンデルスゾーン(ピアノ:加藤洋之)」をリリースし、レコード芸術誌で特選盤に選ばれた。現在最も幅広い演奏活動を展開するチェリストの一人である。



[ピアノ] 沼沢淑音 Yoshito Numasawa, Piano

桐朋女子高等学校音楽科ピアノ科を首席で卒業、あわせて桐朋学園音楽部門より特別奨学金を授与される。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマを経て(公財)ロームミュージックファンデーションの奨学生としてエリソ・ヴィルサラーゼ氏のもと2015年にモスクワ音楽院を卒業。ケルン国際音楽コンクール3位入賞、シュニツケ国際コンクール、ボリーニも過去に優勝した権威あるポッツォーリ国際ピアノコンクールで優勝。『素晴らしい輝かしいピアニストで私は彼の特別な繊細な感受性と音楽への献身に心動かされました(マルタ・アルゲリッチ氏)』と称賛される。数々のオーケストラと共演し、ラ・フォル・ジュルネ音楽祭、別府アルゲリッチ音楽祭等、日本国内各地はじめ欧州各地の音楽祭に出演。2017年4月より桐朋学園非常勤講師。